

# さくらと菊 NO.6

令和5年10月13日(金)

文責 校長 藤米田 成二

## 150年の歴史を振り返って

10月の全校朝会では、10月22日に創立150周年記念式典を迎える春日小学校の歴史について子どもたちに話しました。初めに初代校長先生の写真を見せました。意外と低学年の子どもたちの方が学校探検で校長室に来ているので知っていました。「吉田泰造」校長先生が初代の校長先生で、元々は武士だったと伝えると「え〜！」と驚きの声をあげていました。150年前、岫雲寺（春日寺）の「春日学校」が始まりで、その後北岡神社に「華陵小学校」と名前を変え、「尋常華陵小学校」「春日尋常小学校」「春日尋常高等小学校」「春日国民学校」「春日小学校」と名前が変わっていったことを話しました。明治時代の子どもたちの様子や校舎の写真を見せると「え〜！」「なんかちがう！」「着物だ！」など今の時代との違いを感じていました。校舎の周りには家も何もなく、畑や山があるだけの写真は、子どもたちにとって驚きのようなものでした。また、戦後1400人ももの児童がいたことや最高1600人だったことを伝えると、これもまた「え〜！」。今の5倍以上の子どもがいたと考えると確かにびっくりしました。



ほんのわずかな時間、春日小学校の歴史に触れましたが、子どもたちにとってみれば驚きの連続だったようです。春日小の歴史と伝統を知り、これから大切に引き継いでほしいと思います。

## たてわり班活動始まる

昨年度も行いましたが、今年度も縦割り班活動が始まります。たてわり班活動とは、1年生から6年生までの子どもたちで班を編成し、異学年での活動、特に掃除をとおして上学年と下学年で互いを思いやる気持ちや良さを学ぶ力を育むことを期待しています。児童全体を20班（A、B）に分け、上学年を中心に10月11日（水）に顔合わせを行いました。初めて顔を合わせることで、どの子も少し緊張した表情でした。昨年度も最初は緊張していましたが、たてわり掃除が始まると、下学年は掃除の仕方を学びながら上学年のお兄さんお姉さんからほめられながら一生懸命に頑張る姿が見られました。また、上学年もリーダーとして責任をもって頑張る姿が見られました。



今年もそのような姿が見られることを期待しています。子どもたちの頑張りをまた報告いたします。

## 2学期の子どもたち

今、春日小学校の運動場は重機が入り、側溝を埋め直し、砂利を入れ…本格的な改修工事が行われています。そんな中、子どもたちは中庭や教室で、自分たちで工夫して休み時間を過ごしています。

5年生は9月29日に水俣へ見学旅行に行きました。出発前の学習では水俣でダイバーをされ、水俣の海を全国に発信されている森下さんの話を聞いており、水俣について関心をもって見学しました。



とてもいい天気の中、水俣の海の美しさやそこまでの歩み、語り部の方のお話などを通して、公害や環境について多くを学んだようです。



3年生は、アミュプラザ1階のハローデイに見学に行きました。お店の中は班ごとの活動で、展示されている食品の種類に驚きながらも「〇種類ありました」「お酒コーナーの近くにお菓子がある」等、目を輝かせていろいろな発見をしていました。

「百聞は一見にしかず」と言いますが、直接見たり聞いたりすることが子どもたちの学びにはとても大切ですね。